

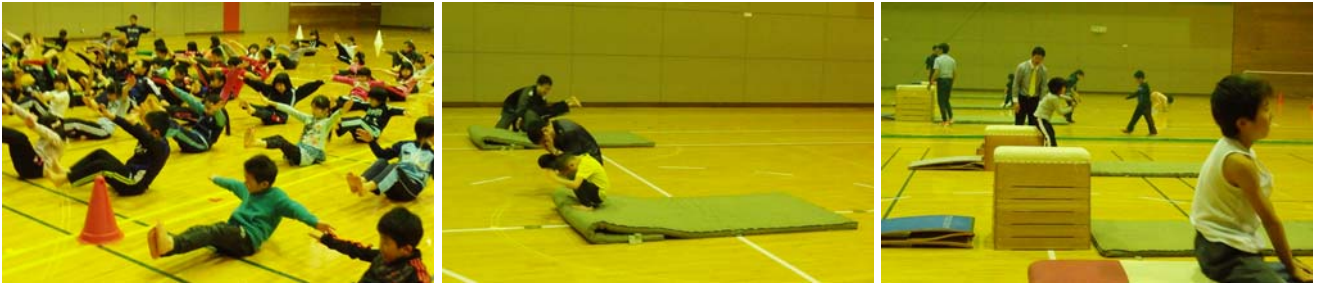
## 放課後子どもサポートプログラム「まっく」

### ■ 器械体操（全地区）

11月6日から8日の3日間、まっく（全地区）のスポーツ教室第4種目として「器械体操」が門別総合市民センター（スポーツセンター）で開催され、町内の小学1年生から3年生までの延べ227人が元気いっぱいに参加しました。

器械体操では主にマット運動と跳び箱を行いました。前転や後転を行い1日目に比べてスムーズになったり、跳び箱でも確実に成長している姿が見えました。

子どもたちからも「できた！」という声や笑顔が溢れる楽しい器械体操となり、充実した教室になりました。



### ■ けん玉づくり（厚賀・門別）

11月9日、24日、まっく「けん玉づくり」が厚賀コミュニティセンター、門別公民館でそれぞれ行われ、厚賀では32名、門別では18名の参加者が集まりました。

ペットボトルと段ボールを使ってけん玉を作る教室で、複雑な構造でしたが、1人1人説明をしっかりと聞き、真剣に取り組む姿が見られました。

出来上がるまでは「なんだろう？」という感じでしたが、完成後も想像力を働かせ、夢中になって遊び、回数を競い合っているなど楽しんでいる姿が見られました。



### ■ 紙であそぼう（富川）

11月15日から17日の3日間、まっく（富川）の「紙であそぼう」が新光町生活館で開催され、60名の参加者が集まりました。

内容は、折り紙でコマを作るのと、紙飛行機を作って飛ばすというものでした。どちらも複雑な折り方などがあり、戸惑っているようにも見えましたが、全員完成することが出来ました。

完成後、コマは1番長く回っているのは誰か競争したり、紙飛行機では1人ずつ投げて、飛距離を競い合いました。どちらも好評で、充実した教室とまりました。



## 「ゲートボール教室」を開催しました

10月31日、11月1日の2日間、「ゲートボール教室」が門別中央スポーツホールで開催され4名の子どもたちが参加しました。

初日は基本的な打ち方、ゲートのくぐる順番やタッチ、スパーク打撃の練習を行い、講師の先生方にも筋がいいと褒められていました。最後には試合を行い先生方のアドバイスを受け白熱した試合を繰り広げていました。

2日目は通過タッチやあがり、戦術を教わりすぐに試合を行いました。先生方も入りより実践に近い形でゲートボールを楽しむことが出来ました。自ら質問をして、「こうやりたい！」とたくさん声がありとても充実した教室となりました。



## 日高地区子ども会「社会施設見学会」

11月3日、日高地区子ども会主催による『社会施設見学会』を開催しました。

当日は日高地区子ども会の会員とその家族の計28名が、千歳市のサケのふるさと千歳水族館と新千歳空港ターミナルビルを見学しました。

サケのふるさと千歳水族館では、ヤマメやニジマスなど釣堀でお馴染みの魚や、普段はあまり見ることでできない、千歳川に生息する珍しい魚たちを参加者は楽しそうに見たり触れたりしていました。

また、新千歳空港ターミナルビルでは空港施設を思い思いに見学し、時間いっぱいまで楽しんでいる様子でした。



## 沙流川大学第7回講座「運動会と町内研修」

11月11日、日高総合体育館と日高町民センターにおいて、第7回講座「運動会と町内研修」が開催され、17名が参加しました。

午前には「うさぶスポーツの集い」に参加し、沙流川大学生の拍手や声援で活気づけられた会場は大いに盛り上がり、スポーツと交流会を通して親睦を深め、多世代交流を図ることができました。

午後の町内研修では、日高西部消防組合消防署日高支署職員の清水哲也氏、坂雄太氏を講師に迎え、「沙流川大学救急講習会～身近に起こりうる救急対処法～」と題して救急講習会を行い、応急手当法や心肺蘇生法、AEDの取扱い方法などを、映像を交えた講演と実技指導により学び、参加者は最後まで熱心に話を聞き真剣に取り組んでいました。

